

EU Indicators

欧州経済指標コメント：7月ユーロ圏PMI（速報）

発表日：2017年7月25日（火）

～マクロン効果剥落～

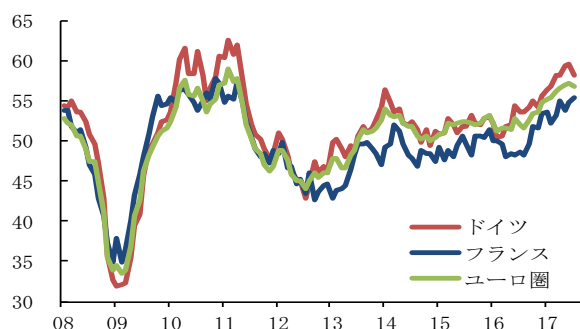
第一生命経済研究所 経済調査部

主席エコノミスト 田中 理

03-5221-4527

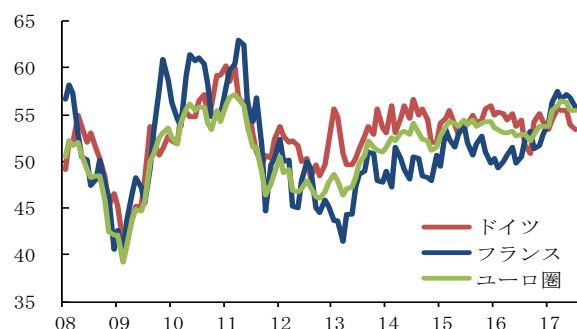
- 24日発表の7月のユーロ圏のPMI総合指数（速報値）は、2011年以来の高水準を記録した4・5月を直近ピークに2ヶ月連続で低下、2月以降続いていた56台を割り込んだ。内訳は、一本調子の上昇が続いてきた製造業が11ヶ月振りに改善モメンタムが鈍化した一方で、過去2ヶ月先行してモメンタムの鈍化が続いたサービス業が横這いとなった。製造業の落ち込みはドイツが主導。このところのユーロ高進行と世界景気の拡大鈍化が輸出企業の業況を下押しした模様。製造業の構成5項目のなかでは、5・6月に揃って60台の高水準に達していた生産と新規受注の低下が目立つ。サービス業はドイツとフランスが揃って低下。マクロン大統領誕生後のフランス企業の業況改善が一服している。
- 発表元のIHS Markitによれば、モメンタムがやや鈍化したとは言え、同指数の水準は7-9月期のユーロ圏の実質GDP成長率が前期比+0.6%の堅調なペースで拡大したことを示唆。ハードデータとソフトデータの乖離が埋まってきただけでなく、ユーロ高進行と世界景気の減速が業況下押しに働いている。
- その他の項目では、雇用指標はドイツ・フランスの製造業・サービス業が揃って前月を上回るか、前月並みの改善モメンタムを維持。物価関連では、投入物価の上昇モメンタムが2月をピークに6ヶ月連続で鈍化、産出物価の上昇モメンタムも5ヶ月連続で鈍化。川下への価格転嫁が進まないうちに、川上の価格上昇が落ち着きつつあり、インフレ圧力の抑制要因となろう。

■ユーロ圏：製造業PMI



出所：IHS Markit

■ユーロ圏：サービス業PMI



出所：IHS Markit

■購買担当者指数（PMI、季節調整済み）

		2016				2017				2016				2017			
		3Q	4Q	1Q	2Q	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	11月	12月	1月
ユーロ圏	総合産出指数	52.9	53.8	55.6	56.6	53.9	54.4	54.4	56.0	56.4	56.8	56.8	56.3	55.8	53.9	54.4	54.4
	製造業購買担当者指数	52.1	54.0	55.6	57.0	53.7	54.9	55.2	55.4	56.2	56.7	57.0	57.4	56.8	53.7	54.9	55.2
	サービス業業況指数	52.6	53.5	55.1	56.0	53.8	53.7	53.7	55.5	56.0	56.4	56.3	55.4	55.4	53.8	53.7	53.7
ドイツ	総合産出指数	53.8	55.1	56.0	56.8	55.0	55.2	54.8	56.1	57.1	56.7	57.4	56.4	55.1	54.3	55.6	56.4
	製造業購買担当者指数	53.9	55.0	57.2	59.1	54.3	55.6	56.4	56.8	58.3	58.2	59.5	59.6	58.3	54.3	55.6	56.4
	サービス業業況指数	52.3	54.5	54.5	54.9	55.1	54.3	53.4	54.4	55.6	55.4	55.4	54.0	53.5	55.1	54.3	53.4
フランス	総合産出指数	51.6	52.0	55.6	56.7	51.4	53.1	54.1	55.9	56.8	56.6	56.9	56.6	55.7	51.7	53.5	53.6
	製造業購買担当者指数	48.9	52.3	53.0	54.6	51.7	53.5	53.6	52.2	53.3	55.1	53.8	54.8	55.4	51.7	53.5	53.6
	サービス業業況指数	52.0	52.0	56.0	56.9	51.6	52.9	54.1	56.4	57.5	56.7	57.2	56.9	55.9	51.6	52.9	54.1

出所：IHS Markit

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。